

令和7年度 学校評価報告書

丹波篠山市立古市小学校
校長 中澤昌樹

1 学校教育目標等

確かな学力と豊かな心を持ち、みんなで伸びる古市っ子
～ふるさとを大切に、いのちを大切に、元気でたくましい子を育む～

2 今年度の重点目標

- (1) 豊かな人間関係や人権感覚の育成に努め、保護者・地域から信頼される安全安心な学校づくりを推進する。
- (2) 言語活動や情報活用能力育成を充実し、確かな学力の定着を図る。
- (3) 生活習慣の定着と教育環境の充実を図る。
- (4) 家庭や地域との連携を深め、「ふるさと古市」を誇りに思う態度を育む。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全管理	安全安心な学校づくり	A	セーフティプロモーションスクールの認証校として児童の自己安全管理能力を高めた。また、県教育委員会指定「学校防災体制推進校」・ひょうご安全の日「丹波地域のつどい」に取り組んだ。
	保護者との連携	B	計画通りに参観日やオープンスクールを行うとともに、PTAとの連携で各種行事を通して保護者との連携が図れた。
学習指導 学力向上	基礎基本の徹底ときめ細やかな学習指導の充実	B	一人一台端末の利用の日常化をすすめ、個別最適な学習と共同的な学習の充実深化に努めた。
	思考力・判断力・表現力の育成を踏まえた探究的な学習	B	探求的な学びにおいて「創造する」をテーマに研究を進め、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んだ。
生徒指導	生活習慣の定着	B	早寝早起き朝ご飯の定着を図った。保護者や児童アンケートで定着が見られた。
	問題行動への適切な対応	A	いじめや問題行動の未然防止と早期対応早期解決を徹底した。関係機関との連携を図るとともに情報共有を迅速に行い、適切な対応に努めた。
ふるさと 教育	地域人材の活用と連携	A	農業従事者や和の伝統クラブでお茶や生け花を体験した。古市まちづくり協議会との交流を数多く図った。
	コミュニティスクールの推進	A	次年度から幼稚園の評議員と統合することで学校運営協議会をさらに充実させる組織づくりを行った。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<p>(1) 豊かな人間関係や人権感覚の育成に努め、保護者・地域から信頼される安全安心な学校づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none">・大きな怪我や問題行動が起きないように安全教育と環境整備が行われている。地域と連携した安全の取り組みは評価できる。セーフティプロモーションスクールの認証校3年目としての取り組みは評価できる。 <p>(2) 言語活動や情報活用能力育成を充実し、確かな学力の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・授業参観から笑顔や元気があって落ち着いた学習態度から成長している様子が見える。・タブレットなどの情報機器を活用した授業が評価できる。 <p>(3) 生活習慣の定着と教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・学校の安全点検で細かな配慮がみられる。整理整頓ができていて教育環境が整っている。 <p>(4) 家庭や地域との連携を深め、「ふるさと古市」を誇りに思う態度を育む。</p> <ul style="list-style-type: none">・多くの行事に保護者が参加できたことがよかった。・地域との交流は参加した地域の人も楽しみにしている機会となっている。・少人数の良さをいかしてきめ細やかに指導している。
--

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none">・授業参観から、児童の挙手の様子から一生懸命に学んでいる様子がわかった。児童の様子から成長を感じる。・探究的な学習の取り組みの成果は、将来子どもたちが成長したときに現れてくる。基礎学力も大切して子どもたちの全体の学力と自信をつけてほしい。・家庭学習の在り方について方法や内容を深めてほしい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・教職員が連携して安全安心な学校づくりをしている。・安全管理については、手すりや窓への注意喚起の掲示など、さらなる工夫が求められる。上級生が下級生に注意を促すなど、子どもたちが主体的に安全について考え、行動できる能力の育成を図る必要がある。
学習指導	<ul style="list-style-type: none">・思考力・判断力・表現力の育成が大事になってきていて、その部分に力が入っているのはよくわかる。・児童数の減少により、教員の目が行き届きやすくなっており、一人ひとりに寄り添った指導が可能になっている。・基礎学力の定着や、自由に意見が言い合える授業で学力を伸ばしてほしい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・感情面を豊かに育む教育の工夫が求められる。例えば、始業式や週の始めなど「はじまりの時間」を大切にし、挨拶のあとに一言付け加えるような声かけを行うことで、子どもたちの心に寄り添う関わりができるのではないかと。・いじめにつながるような子ども同士の出来事も丁寧に聞き取って対応している。
ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none">・地域と連携した学習が多くカリキュラム化されている。農業や林業、昔の遊びなど、ふるさとの素材をカリキュラム化した取り組みはよい。今後も地域の中の学校として取り組んでほしい。・学校運営協議会やまち協と連携した防災合宿もよい取組であり、今後も継続することを希望する。